

STOP! 感染拡大

清元 市長

命 LIFE

一生 暮らし



市政惻怛 — コロナ奮闘篇

緊急経済対策は第4弾まで進行中

49日間に及んだ緊急事態宣言は5月25日、全都道府県で解除されました。しかし、今なお世界中がこの未知のウイルスと全力で闘っています。

本市においては、1月に日本人初の感染者が発生した直後から、感染予防策について関連機関との協議を開始し、感染が拡大傾向にあった時期に、速やかに取り組むべき支援として第0弾の緊急経済対策をスタートしました。さらにその後、市民議会や経済界等の協力を得ながら、医療・福祉を守ることで命を守る、経済基盤(事業・雇用)を

守ることでくらしを守る、という2つの大きな考えのもと、速やかな経済復興を果たすべく、そして、市民生活を守るべく、第4弾まで総額626億円の対策を機動的に展開してきたところです。



姫路市緊急経済対策(第0弾~第4弾)の実施状況

医療現場の最前線に立つ皆様に感謝

新型コロナウイルスの感染拡大を抑える上で注視するバロメーターの一つが、感染経路が不明な患者数です。7月15日までの検査で陽性となった患者数は兵庫県内が約760名。うち不明者は約200名で、ほとんどが県東部の方でした。一方、本市では48名が感染されましたが、いずれも職場など小規模集団内での発生でしたので、感染経路不明者は4名にとどまりました。

そこで大事になるのがクラスター対策です。市内で最初に患者が発生した病院には私も直接現場

に出向き、入院している方々が濃厚接触しないように動線管理を指導するなど院内アウトブレイク(集団発生)の抑止に当たりました。それでも亡くなられた方が出たことには心からお悔やみ申し上げます。ここで医療従事者の間に感染が大きく広がらなかったことは唯の救いだっただと思います。市内で医療崩壊が起こらなかったことが、結果として感染者数の増加を抑えることにつながりました。



市内での新型コロナウイルス感染症の発生状況

100年に一度のパンデミックである新型コロナウイルス感染症。人類に降りかかったこの大きな危機に、これまで清元市長がどのように戦ってきたのか、ニューノーマル(新しい日常)への考え方を合わせて聞きました。

医療現場の最前線で献身的に戦われた皆様には改めて感謝を申し上げます。7月になって再び感染者が出ま

したが、感染がこれ以上広がらないよう、各医療機関との連携を密にしなが、しっかりと対応してまいります。

全国初「姫路の未来を守るプロジェクト」

本市では姫路産婦人科医会のご協力のもと、出産を控えた妊婦さんが新型コロナウイルスに感染していないかを調べるPCR検査を5月下旬から始めました。これは全国でも先進的な取り組みで、厚生労働省もならつて9月から開始することになりました。

ただ、本市の場合は、偽陽性の可能性を極力ゼロに近づけるために検査を2回実施すると同時に、対象をパートナーの方まで拡大しており、国の検査より手厚くなっていることが特徴です。また、本市のPCR検査能力は民間検査機関と保健所を合わせて、当初は80件ほどでしたが、7

月に姫路市医師会の協力で「地域外来・検査センター」を設置したことで相当増強することができました。ここでは、皆さんのかかりつけ医からの紹介で検査を受け付け、最短1時間で結果を出すことができます。仮に新型コロナウイルスが陰性であれば、かかりつけ医がすぐに症状の原因を探る診療にかかれるので、重大疾患の治療が放置されることもなくなります。

新しい生活様式への学校での対応

昨年すべての普通教室にエアコンを前倒し設置したおかげで、結果的に子どもたちが本来夏休み中の学校授業も快適に受けられるようになりました。次にトイレの洋式化とドライ化を進めているところでしたが、それと同時に新型コロナウイルス対策として、手洗い蛇口を非接触型の自動水栓に切り替えていくことにしました。

夏休みで残念なのは、水泳授業を中止せざるを得なかったこと。更衣室が密になるのはもちろん、

体工事に入らないと手柄山中央公園の再整備事業に影響があります

ので、何とぞご理解ください。

マイナンバーカードはやはり便利

何かと話題の多かった特別定額給付金ですが、本市では約98%の方が申請済みで、それらの方は7月末時点でほぼ支給または支給決定済みとなっています。とはいえ、未申請の方がまだいます。とはいえ、申請の方がまだいます。とはいえ、申請の方がまだいます。

も多かったのではないかとお察しします。電子申請をした世帯数が約8300件と全24万世帯の1割にも届かなかったことは意外でしたが、使いこなすことができればマイナンバーカードが頼りになるシステムはありません。来年3月からは健康保険証としても利用可能になり、ますます便利になるので、今後はマイナンバーカードを一層広めていきたいと考えています。



特別定額給付金の支給状況

第2波に備えインフル予防接種を

新型コロナウイルスのワクチンができるまでの間は、発熱した方が病院へ受診にいらしても、それが季節性インフルエンザの症状なのか新型コロナウイルスによるものなのか、検査結果が出るまで分かりません。このため、今年の冬は医療現場が大きく混乱することが予想されています。しかし、少なくともインフルエンザのワクチンを打っている方の発熱なら、「新型コロナウイルスの可能性が大きい」ということでトリアージ(詳しい診断前に治療や搬送の優先順位を決めること)ができます。

市民の皆様には新型コロナウイルスの第2波に備え、インフルエンザの予防接種を受けることをお願いさせていただきます。

姫路で大変革を起こしましょう

コロナ禍の収束にはまだ時間がかかります。この先、私たちは常に疫病に対する防疫をしっかり心がけ、節度を持ってニューノーマルに対応した日常生活、経済活動、文化交流活動を実践していかなくてはならないでしょう。

なればこそ私は、これを機に本市は大変革を起こすべきだと考えます。人々の営みに係るすべての領域において、「元に戻す」ということだけが復興ではありません。

東日本大震災でも大きくレボリューションした分野がたくさんあります。私たちはそれを創造的復興と呼びました。私は姫路の未来を安全で強靱なものにするため、オール姫路の先頭に立つて取り組んでまいっている覚悟です。すこやか姫路市民の会会員の皆様には引き続き強力なご支援を賜りますよう、何とぞよろしくお願い致します。